

氏名	井原 寛子	部署	健康開発学科	職名	講師
研究分野	血液学、腫瘍学				
学位	博士(医学)				
学歴	東京医科歯科大学大学院医歯薬総合研究科博士課程修了				
経歴	慶應義塾大学医学部放射線科学教室共同研究員				
所属学会(役職)	日本検査血液学会、日本血液学会、日本臨床細胞学会、日本癌学会、日本臨床検査医学会				

【2015年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	Establishment of a quenching probe method for detection of NPM1 mutations in acute myeloid leukemia cells.	共著	Oncology letters	Kawaguchi-Ihara N, Itoh M, Murohashi I and Tohda S	in press
3	Effects of resveratrol and vitamin C on the self-renewal capacity of blast progenitors in hematologic malignancies.	共著	Journal of Leukemia.S-1-006	Zhang Y, Zhao Y, Miyahara K, Shimada M, Tanaka K, Hayashi H, Ihara N, Murohashi I	2015.8
2	チーム基盤型学習法とピア評価を用いた血液学概論演習	共著	臨床検査学教育 7(2);158-167	室橋郁生, 井原寛子	2015.9
4	地域、医療機関で実践可能な食事・運動法合体型演習法の考案	共著	臨床検査学教育 7(2);193-201	室橋郁生, 柳沼絵美子, 井原寛子	2015.9
(3) 学会発表					
1	地域健康講座参加者のバイタルサインの検討	共著	第10回日本臨床検査学教育学会学術大会	○荒川恭子, 韓笑, 酒井伸枝, 井原寛子, 久保田亮, 内山真理, 関美雪, 室橋郁生	2015.8
2	Effects of NSAIDs and phytochemicals on the self-renewal of leukemia blast progenitors in vitro.	共著	第77回日本血液学会学術集会.	○Murohashi I, Ihara N	2015.1
3	リンパ系腫瘍におけるMYD88遺伝子変異の新規検査法の開発.	共著	第62回日本臨床検査医学会学術集会. 岐阜市	○野上祥平, 井原寛子, 王詩淳, 白鳥恵理香, 大高美香, 伊藤真以, 東田修二	2015.11
4	若年者の血圧・食塩摂取量・尿中アルブミン値の現状－高齢者との比較－	共著	第26回生物試料分析科学会年次学術集会. 宜野湾市.	○久保田亮, 岡田孝美, 浜田えりな, 西澤美穂子, 酒井伸枝, 荒川恭, 井原寛子, 内山真理, 関美雪, 室橋郁生	2016.2
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	該当なし				

3. 教育業績			
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義			
1 血液学 I	2015.4-2015.7	血液学の基礎から血液疾患、血液学的検査(主に形態検査)について講義した。	
2 血液学 II	2015.10-2015.11	凝固・線溶系の概要について、各検査や疾患のつながりを把握できるよう講義した。	
3 臨床検査学概論	2015.5	血液学分野を担当し概論を1年生にも興味を持てるような話題を交えて講義を行った。	
3 遺伝子・染色体検査学	2015.11	染色体検査についての講義を分担した。	
(2) 演習			
1 臨床病態学演習	2015.4-2015.7	前半はチュートリアル形式での事例検討、後半は疾患や検査について学生全員が課題を一つ担当し、資料作成、講義を行った。	
(3) 実習			
1 血液学実習 I	2015.4-2015.7	初めての採血実習を安全かつ正確に実施できるよう、デモ、ビデオなどを多用しながら進めた。実習は主に形態学的検査を扱った。	
2 血液学実習 II	2015.10-2015.11	凝固・線溶系の検査を中心に実施するとともに、臨地実習に向け、前期実習内容の確認も行った。	
3 遺伝子・染色体検査学実習	2015.6	染色体検査を担当し、リンパ球培養から染色体標本作製、解析までを実習した。	
4 IPW実習	2015.4-2015.10	7施設8チームの地域担当としてオリエンテーション、実習、報告会を取りまとめた。	
(4) 論文指導			
1 卒業研究	2015.6-2015.12	白血病細胞株を用いたシグナル伝達に関する研究で4名を指導した。	
2 修士課程	2015.4-2016.3	副指導員として1名を担当した。	
(5) その他			
1 該当なし			
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1 該当なし			
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1 該当なし			
(3) ジャーナリズムでの発言			
メディア等の名称	内容	年月	
1 該当なし			
5. 学内運営(委員会委員)			
1 ハラスメント委員会			
2 専門職連携推進部会			
3 IPW実習科目責任者会			
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
受賞名	主催	受賞年月	
1 該当なし			
7. 特許の保有状況			
特許名	特許番号	登録年月	
1 該当なし			
8. 特記事項			
該当なし			